

心臓の機能障害の状況及び所見（18歳以上用）

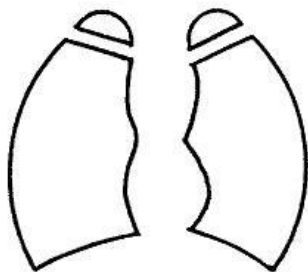
概ね3ヶ月以内の検査データを記載して下さい。

（該当するものを でかこむこと）

1 臨床所見

- ア 動悸（有・無）
- イ 息切れ（有・無）
- ウ 呼吸困難（有・無）
- エ 胸痛（有・無）
- オ 血痰（有・無）
- カ チアノーゼ（有・無）
- キ 浮腫（有・無）
- ク 心拍数
- ケ 脈拍数
- コ 血圧（最大 ， 最小 ）
- サ 心音
- シ その他の臨床所見
- ス 重い不整脈発作のある場合は，その発作時の臨床症状，頻度，持続時間等

2 胸部エックス線所見（ 年 月 日）



心胸比（ % ）

3 心電図所見（ 年 月 日）

- ア 陳旧性心筋梗塞（有・無）
- イ 心室負荷像（有<右室，左室，両室>・無）
- ウ 心房負荷像（有<右房，左房，両房>・無）
- エ 脚ブロック（有・無）
- オ 完全房室ブロック（有・無）
- カ 不完全房室ブロック（有第 度・無）
- キ 心房細動（粗動）（有・無）
- ク 期外収縮（有・無）
- ケ S T の低下（有 mV・無）
- コ 第 誘導，第 誘導及び胸部誘導（但し V₁を除く）のいずれかのTの逆転（有・無）
- サ 運動負荷心電図におけるS Tの0.1mV以上の低下（有・無）
- シ その他の心電図所見（ ）
- ス 不整脈発作のある者では発作中の心電図所見（発作年月日記載）

4 心エコー図，冠動脈造影（ 年 月 日）*所見がある場合記載のこと

- ア 冠動脈の狭窄又は閉塞（有・無）
- イ 冠動脈瘤又は拡張（有・無）
- ウ その他（ ）

5 活動能力の程度（活動能力と等級の関係：ア：非該当 イ・ウ：4級 エ：3級 オ：1級）

* 活動能力の程度とこれを裏付ける客観的所見から障害程度を認定する。

- ア) 家庭内での普通の日常生活活動若しくは社会での極めて温和な日常生活活動については支障がなく、それ以上の活動でも著しく制限されることがないもの、又はこれらの活動では心不全症状若しくは狭心症症状がおこらないもの。
- イ) 家庭内での普通の日常生活活動若しくは社会での極めて温和な日常生活活動には支障がないが、それ以上の活動は著しく制限されるもの、又は頻回に頻脈発作を繰り返し、日常生活若しくは社会生活に妨げるとなるもの。
- ウ) 家庭内での普通の日常生活活動又は社会での極めて温和な日常生活活動には支障がないが、それ以上の活動では心不全症状又は狭心症症状がおこるもの。
- エ) 家庭内での極めて温和な日常生活活動には支障がないが、それ以上の活動では心不全症状若しくは狭心症症状がおこるもの、又は頻回に頻脈発作を起こし、救急医療を繰り返す必要としているもの。
- オ) 安静時若しくは自己周辺の日常生活活動でも心不全症状若しくは狭心症症状がおこるもの又は繰り返してアダムスストークス発作がおこるもの。

【早見表】

活動能力の程度	家庭内での普通の日常生活活動・ 社会での極めて温和な日常生活活動	支障なし	それ以上の活動でも、心不全症状・狭心症症状がおこらないもの。	ア イ ウ
			それ以上の活動は著しく制限されるか、頻回に頻脈発作を繰り返すもの。	
			それ以上の活動では、心不全症状・狭心症症状がおこるもの。	
程度	家庭内での極めて温和な日常生活活動	支障なし。	それ以上の活動では心不全症状・狭心症症状がおこるもの。又は頻回に頻脈発作をおこし、救急医療を繰り返す必要としているもの。	エ
	安静時・自己周辺の日常生活活動	支障あり。	これらの活動でも心不全症状・狭心症症状や繰り返してアダムスストークス発作がおこるもの。	オ

- 6 ペースメーカー (有・無): 年 月 日 施術・予定
人工弁移植, 弁置換 (有・無): 年 月 日 施術・予定

* 手術予定で申請を行う際は、術前の心機能のレベルで障害認定を行う。

- 7 ペースメーカーの適応度 (クラス ・ クラス ・ クラス)
8 身体活動能力 (運動強度) (メッツ)

心臓の機能障害の状況及び所見（18歳未満用）

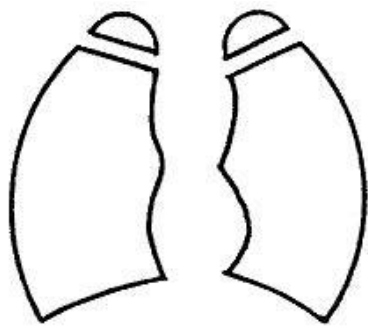
概ね3ヶ月以内の検査データを記載して下さい。（該当するものを でかこむこと）

1 臨床所見

- | | | | |
|-------------|-------|---------|-------|
| ア 著しい発育障害 | (有・無) | オ チアノーゼ | (有・無) |
| イ 心音・心雑音の異常 | (有・無) | カ 肝腫大 | (有・無) |
| ウ 多呼吸又は呼吸困難 | (有・無) | キ 浮腫 | (有・無) |
| エ 運動制限 | (有・無) | | |

2 検査所見

(1) 胸部エックス線所見 (年 月 日)



心胸比 (%)

- | | |
|---------------|-------|
| ア 心胸比 0.56 以上 | (有・無) |
| イ 肺血流量増又は減 | (有・無) |
| ウ 肺静脈うっ血像 | (有・無) |

(2) 心電図所見 (年 月 日)

- | | |
|----------|-----------------|
| ア 心室負荷像 | [有<右室,左室,両室>・無] |
| イ 心房負荷像 | [有<右房,左房,両房>・無] |
| ウ 病的な不整脈 | [種類](有・無) |
| エ 心筋障害像 | [所見](有・無) |

(3) 心エコー図,冠動脈造影所見 (年 月 日)

- | | |
|--------------|-------|
| ア 冠動脈の狭窄又は閉塞 | (有・無) |
| イ 冠動脈瘤又は拡張 | (有・無) |
| ウ その他 | () |

3 養護の区分 (養護の区分と等級の関係: (1): 非該当 (2)・(3): 4級 (4): 3級 (5): 1級)

* 養護の区分とこれを裏付ける客観的所見から障害程度を認定する。

- | | |
|-----------------|--|
| (1) 6か月～1年毎の観察 | (4) 継続的要医療 |
| (2) 1か月～3か月毎の観察 | (5) 重い心不全, 低酸素血症, アダムスストークス発作又は狭心症発作で継続的医療を要するもの |
| (3) 症状に応じて要医療 | |